

H.C.R. 特別企画

特設会場 **東1ホール奥**

福祉機器開発最前線

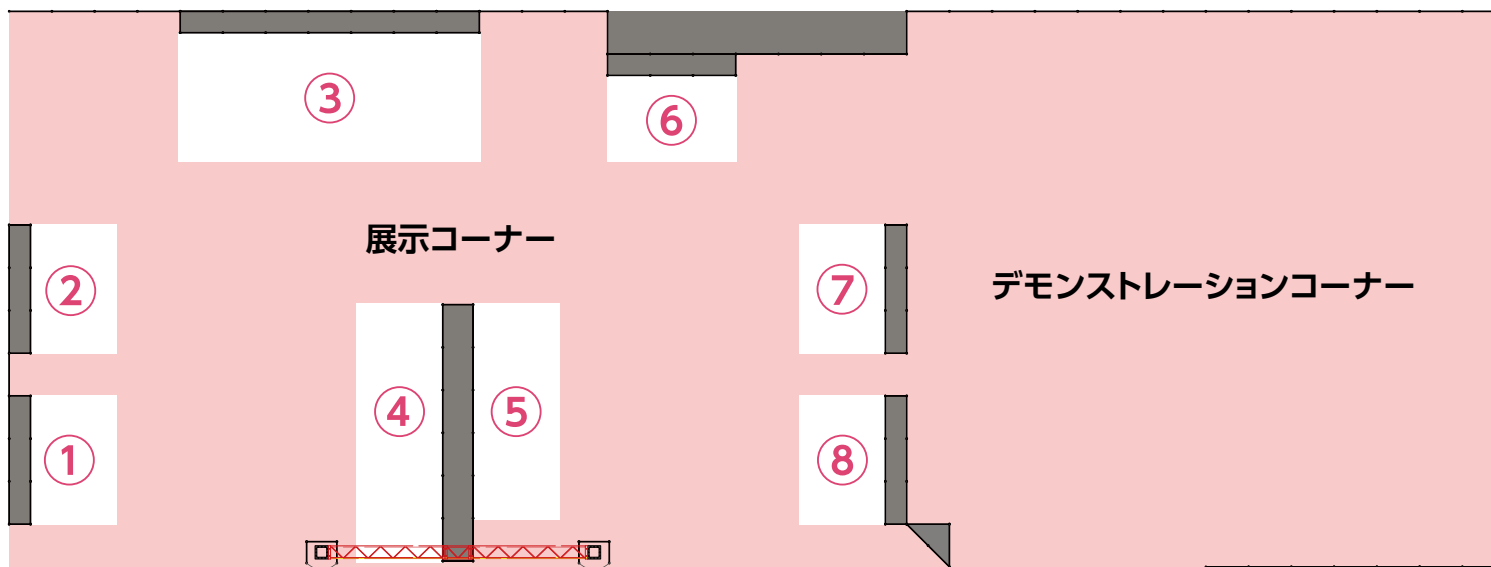
—ふくしの未来に会いに行こう—

手話通訳あり

最先端の福祉機器が集結!

研究・開発中または開発間もない機器の展示と、開発企業によるプレゼンテーション・デモンストレーションを実施します。注目すべき未来の福祉機器をいち早く体感できるH.C.R.ならではの特別企画です!

製品名	出展社名
① 透明ディスプレイモニタ Raelclear (レルクリア)	株式会社ジャパンディスプレイ
② ワードクラウド・ミーティング	筑波大学 デジタルネイチャー研究室 / xDiversity
③ CYBER BOCCIA S	株式会社ワントゥーテン
④ 視覚障害者の歩行アシスト機器[seeker]	株式会社マリスcreative design / 国立大学法人九州工業大学 / 株式会社マクニカ / NTTコミュニケーションズ株式会社
⑤ Qolo 起立リハビリモデル / モビリティモデル	Qolo株式会社
⑥ VR旅行 / VR吹き矢	一般社団法人デジタルステッキ / 東京大学先端科学技術研究センター身体情報学分野
⑦ 筋電位電動車いすコントローラ WH1	システムデザイン・ラボ / 北陸大学 服部研究室
⑧ 仮称 (SAT) / 聴覚視覚発話刺激に対応した言語機能支援アプリケーション	シスネット株式会社



1 透明ディスプレイモニタ Raelclear (レルクリア)

Transparent Display Monitor, Raelclear
株式会社ジャパンディスプレイ

—高い透明度を持ち、両面に鮮明な表示ができるディスプレイである—

他には無い、2つの大きな特徴があります。

- (1) ガラス同等の高い(84%)透明度。
- (2) 表/裏 両面から鮮明なカラー映像を見る事ができる。

PCやスマホで動作する音声文字おこしソフトと組み合わせる事で、リアルタイム字幕表示装置として利用する事ができ、透明度が高いディスプレイであるが故に、視界を遮る事なくディスプレイ越しに相手の表情や仕草を見る事ができます。

また、話し手側からも字幕表示を確認する事ができる為、字幕の確認が容易で、ろう・難聴の方との、よりスムーズなコミュニケーションの為に補助として有用です。

2 ワードクラウド・ミーティング

Word Cloud for Meeting
筑波大学 デジタルネイチャー研究室/xDiversity

—ビデオ会議の参加者の発言内容をリアルタイムに可視化します—

ろう・難聴者がビデオ会議に参加する時に、誰が何を言ったのかを一目で概観できることを目指したシステムです。各参加者の発言内容をワードクラウドの形でリアルタイムに可視化し、その人物の背景に表示します。喋った言葉を文字に起こし、頻出する単語を抜き出し、より頻出する単語をより大きく表示します。人物の背景に、その人の発言のキーワードが表示されるため、人物と発言内容が結びつけやすくなることが期待されます。また、人物の背景に表示することは、「ろう・難聴者にとって、文字起こし・参加者の顔・スライドなど、ビデオ会議で見るべき場所が多い」という問題を軽減することにも繋がっています。

So you should form a band with your school friends. Because you need to stay motivated to make your dream come true.

3 CYBER BOCCIA S

サイバーボッチャ エス

株式会社ワントゥーテン

—ルールはそのままに審判いらずで楽しめる最新型ボッチャー—
ボッチャのルールはそのままに、最先端のセンシング技術でボールの位置や、色、距離などを自動計測。

審判がいなくても誰でも簡単にプレイすることができます。

また、試合状況とプレイヤーの様子が大型ビジョンに映し出され、日英中・3ヶ国語のマルチリンガルナビシステムにより、多くの観客とともにゲームを楽しむことができます。



4 視覚障害者の歩行アシスト機器「seeker」

"seeker" walking assist device for the visually impaired

株式会社マリスcreative design / 国立大学法人九州工業大学
株式会社マクニカ / NTTコミュニケーションズ株式会社

—視覚障害者の安心・安全な歩行を実現するseekerの開発—



5 Qolo 起立リハビリモデル / モビリティモデル

Qolo Standing Rehabilitation Model / Upright Mobility Model

Qolo株式会社

—下肢に麻痺があっても立ち上げられる起立リハビリ機器と移動機器—

下肢に障害があっても、もっと健康で、より自分らしく、やりたいことが続けられるように、起立訓練を支えるリハビリテーション機器と、立ち上がって移動することを支えるモビリティ機器を開発しています。筑波大学の研究成果を応用し、完全に下肢が麻痺していても上半身を前後に傾けバランスをとることによる起立動作を実現しました。リハビリテーションモデルは、機能改善に応じたアシストで重介助を軽減しながら繰り返しの起立訓練を実現します。モビリティモデルは、立ち上がって移動することを可能とし、仕事や家事の効率化や、ユーザーの健康維持に貢献します。



6 VR旅行 / VR吹き矢

VR Therapy · VR Blowgun

一般社団法人デジタルステッキ / 東京大学先端科学技術研究センター身体情報学分野

—高齢期の福祉を拡張するXRアプリケーションの研究開発—

VR旅行：外出困難な高齢者の心に残る風景を本人に代わって巡る映像配信サービス。過去の追体験からエンタメにとどまらず副次的な効果についても研究を進めプログラムの構築を目指す。

VR吹き矢：呼吸、咳嗽能力の低下した高齢者への効果的なりハビリテーションとして吹き矢が期待されているが、大掛かりで場所を取ってしまう点が継続する上での弊害となる。バーチャルリアリティを用いて、VR空間上で簡単に吹き矢の体験ができ、より実用的なりハビリテーションの提供を目指す。



7 筋電位電動車いすコントローラ WH1

Myopotential Electric Wheelchair Controller WH1

システムデザイン・ラボ / 北陸大学 服部研究室

—手足を使わずに筋電位ヘッドセットで電動車いすを操縦—

「電動車いすを自分で操作したい」そんな願いを叶えます。「拘縮や不随意動作でジョイスティックがうまく操作できない」や「視線入力を使用するほどは困っていない」という方に、奥歯の噛み込みでPCや電動車いすの操作を補助する装置を提案します。本装置はセンサを頭部に装着するだけです。噛み込みの筋電位を取得し、端末のモニターでしきい値を調節できるので筋電位の知識がない介助者でも簡単に扱うことができます。注視点を妨げずにPCや車いすを操作することができ、不随意動作が生じて誤操作が生じにくくなっています。電動車いすの操作にはYAMAHAのインターフェイスBOX、PC操作にはワンキーマウスを併用します。



8 仮称(SAT) 聴覚視覚発話刺激に対応した言語機能支援アプリケーション

SAT シスネット株式会社

—発話機能を口型動画・音声・絵カードにより、トレーニング可能!—

発話機能を口型動画・音声・絵カードにより、訓練可能なアプリケーションです。視覚・聴覚・発話刺激を実施することで、発話機能の改善を促します。言語療法で一般的に活用されている絵カードを収録し、約2,500語の短文や単語を収録し、さらに「最寄りの駅名」などのオリジナルのことはも生成可能であり、コミュニケーション支援ツールとしても活用可能です。オリジナルことは、ことば手帳より、ダイレクトにアクセス可能であり、日常生活頻出語句等も搭載し、自主トレーニングに活用することも可能です。訓練機能では、斉唱・復唱・自発話の流れで訓練を実施、ことば機能では、単語～4語文まで段階的に難易度を上げ、訓練する事も可能です。

